

女性に多い関節リウマチ 新型コロナの影響は？

福島安紀・医療ライター

2020年9月29日



「朝起きたときに手や手指の関節がこわばって動かしにくい」「関節が腫れ、押すと痛い」――。そんな症状に心当たりがあったら、関節リウマチかもしれない。国民生活基礎調査（2019年）によれば、関節リウマチの



や重症化の恐れなど留意点はあるのだろうか。そもそも女性に多いのはなぜなのか。「よくわかる最新医学 関節リウマチ」（主婦の友社）などの著書がある松野リウマチ整形外科院長の松野博明さんが解説する。

関節リウマチは、朝、手や足の指にこわばりを感じたり、関節が腫れて痛みが生じたりする原因不明の病気だ。重症化して関節が破壊されると、手や足の指が変形して動かしにくくなる。

「人間の体には、細菌やウイルスなどの外敵が入ってきても、自己か異物（非自己）かを判断して、異物だけを排除する免疫機構が備わっています。関節リウマチは、その免疫機構の誤作動で、本来は攻撃してはいけない自分の組織を攻撃してしまうことによって起こる自己免疫疾患の一つです。免疫細胞が、関節を構成する膜である滑膜と呼ばれる部分に炎症を引き起こし、進行すると、全身の関節が破壊されます」。松野さんは、そう説明…